



企業プロフィール

- 設立：1941年
- 事業内容：貯蓄・運用や各種ローン、保険販売などの個人向けサービスや資金調達、事務合理化などの法人向けサービス
- 従業員数：単体 1,881名、連結 1,895名（2015年3月現在）
- 年次有給休暇の取得率：67%
- 年間休日数：120日
- URL：http://www.tohobank.co.jp/

イクまご休暇



家族のための
休暇制度

孫のために休む「イクまご休暇」を特別休暇に追加し年次有給休暇の未取得分を有効活用

ポイント

- ① 孫がいる行員に新しい休みの取り方を提示
- ② わかりやすい「イクまご休暇」という名称で制度の認知・利用を促進

1941年、地元3行の合併で設立された東邦銀行は、それ以来地域密着の地方銀行として地元・福島県の経済を支えてきた。東北6県では2番目に大きな規模を持ち、堅実な経営で顧客数を伸ばしている。

企業運営の基盤にあるのが、「人を大事にする経営」という姿勢だ。その考えを頂点に、お互いを支えあい高めあう企業文化の醸成や行員の活躍機会の拡大を促し、多様な人材が活躍できる組織・風土を作れるよう常に改善されている。こうした行員の多様性を積極的に受け入れる考えは、各種制度という形でも具体的に表現されている。例えば時間外労働を17時15分の定時以降に限らず、朝も対象にして朝型勤務を実施。帰宅後に家族との時間を大切にしたい行員から歓迎された。この他にも結婚休暇や看護休暇、介護休暇、リフレッシュ休暇、裁判員制度休暇、健診休暇なども整備している。

そして2015年3月には、職員活躍推進室が新設された。これまでは「ハートフルスマイル」という女性活躍推進プロジェクトが存在し、女性の目線を中心に制度の見直しが提案されていたが、多様性への取組みをより包括的に進めるべく設けられた。今回は同室の初代室長に就任された戸田満紀子さんと、各種制度づくりを担当している人事課調査役の石川秀正さんにお話を伺った。

多様な制度の充実

職員活躍推進室の設立と同時に、時間単位の年次有給休暇や妊娠・介護に伴う短時間勤務制度の拡充、半日

有給休暇制度、朝型勤務の開始時間繰り上げなどが新規導入・改定され、より多様な勤務が可能になりました。

積立特別休暇制度も拡充しています。年次有給休暇

の未取得分を積み立てて充当できるもので、積立日数限度をこれまでの60日から120日へと倍増しました。その利用目的も、これまでは私傷病とボランティアのみに認められたものでしたが、2015年度より介護と育児、そして孫のための休暇である「イクまご休暇」の3つが新たに加えられました。いずれも有給休暇扱いとなります。

子どものための育児休暇があるなら孫のための休暇があってもいいはず

育児は小学校卒業前の子どもを持つ行員、介護は要介護状態の両親がいる行員を想定したものとありますが、「イクまご休暇」はさらにその先の、祖父母にあたる行員が孫の育児等を支援するためのものになります。

例えば以前に、こんな声があったのです。「遠方に住む娘が近々第二子を出産することになり、手伝いに行きたいけれども仕事があって休めない」。第一子は里帰り出産だったため、通常通りに勤務しながらでもケアできたそうですが、今度は一人目が保育園に通っているなどの理由から里帰りできないという話でした。育児休暇は今や当たり前になりましたが、それなら孫のための休暇があってもいいのではないかと。そう思った思いもあって、制度づくりがはじまりました。

もちろん、一義的には年次有給休暇の100%の消化を目指しています。しかし、積み立てた場合の選択肢



石川調査役と戸田室長

として提示する意義は小さくないと考えています。

孫が病気になったときに、他の子の世話で手が離せない娘の代わりに病院まで連れて行く。数日間の研修が入ってしまった息子の代わりに、孫の面倒を見る。さまざまな状況の下でイクまご休暇が活用されており、これから孫が生まれるという行員が取得条件について確認にくるケースもあります。

「イクまご休暇」とわかりやすくネーミングしたことも、認知の拡大に貢献したと思います。「孫のために休んでもいいのだ」という認識が行員間で共有されたことも、制度利用者の増加につながりました。

孫がいる世代の行員の多くは、なかなか年次有給休暇を消化しきれずに勤め上げ、産前産後もすぐに職場復帰された方々ばかりです。そのため、孫のためには時間を取ってあげたいという声が多くありません。利用者はお孫さんと密接な時間がとれたと喜ばれていて、これからの仕事の励みにもなっているようです。

今後も多種多様な休暇制度の認知に努め、仕事と家庭の両立支援を図っていきたくと考えています。

休暇制度 利用者の声

職場の皆さんに快く送り出してもらえ、娘夫婦からも感謝されました。第二子、第三子が生まれたときは、上の子ども達の世話をする人手が必要となります。イクまご休暇はそうしたニーズに応えた制度であると思います。幼稚園の送り迎えや買い物、食事の支度など、一日一日があつという間でしたが、孫たちも喜んでいて、休暇を取って良かったです。

(新さくら通り支店 業務主任囑託 鈴木常子さん)

